

編集後記

東京2020オリンピック・パラリンピックでは、選手の皆さんから多くの感動をいただき、日本で開催できたことは本当に素晴らしい事だったと思います。“諦めなければ夢はかなう”多くの選手の皆さんがこのようにコメントされ、開催を支援された多くの方々に心より感謝です。

誌上ギャラリーは、大山 勲先生より“里の秋”をいただきました。昔ながらの田舎の風景で、懐かしい情景です。

論説と話題は、那覇市医師会が担当で7月10日開催された第52回九州地区医師会立共同利用施設連絡協議会(WEB会議)の報告です。特別講演は中川俊男日本医師会会长が「最近の医療情勢と日本医師会の考え方」を、特別講演は下地芳郎沖縄觀光コンベンションピューロー会長が「沖縄觀光の現状と未来～持続可能な觀光地を目指して～」を講演されました。第1分科会(医師会病院部門)では都城市郡医師会病院名越秀樹救急科医長が「当院の災害医療の取り組みCOVID-19対応を中心に」を、沖縄赤十字病院赤嶺盛和副院長兼呼吸器内科部長が「沖縄赤十字病院における新型コロナウイルス感染症(COVID-19)診療」を、第2分科会(検査・検診部門)では佐賀県健康づくり財団臨床検査課北島理恵課長が「新型コロナウイルス遺伝子検査の体制整備と現状報告」を、中部地区医師会松嶋顕介副会長が「中部地区医師会WEBサイトおよび“コロナバスター中部”について」を、中部地区医師会池端郁子臨床検査技師長が「検診センターPCR検査の構築について」を講演されました。アンケート結果をもとに各部門管理者会(医師会病院部門、検査・検診部門)で「新型コロナウイルス感染症による影響について」意見交換が行われました。

米盛公治先生より『医療施設におけるクラスター(クラスター46)について』として詳細な報告があり、医療従事者が今後行う事を提言していただきました。感染拡大の経緯・対応・対策等示唆に富む多くの内容だと思います。有難うございました。

学術は鹿児島医療センター消化器外科菰方輝夫先生から「肝門部胆管内発育を伴ったcStageIVc大腸癌に対する手術と薬物のタッグ療法」を報告していただきました。希少な症例報告を有難うございました。鹿児島大学心臓血管外科学分野曾我欣治教授より「最近の心臓血管外科」(鹿児島市外科医会総会特別講演要旨)を寄稿していました。有難うございました。

医師会病院だよりは、脳神経内科中川広人部長より脳神経内科の紹介をいただきました。鹿児島市医師会病院の診療案内と外来スケジュールが掲載されていますので今後ともご紹介宜しくお願いします。

古庄弘典先生の連載、切手が語る医学は、【シリアの医師(5人)】です。いつも貴重な切手をご紹介いただきまして有難うございました。

粟 博志先生からは、「歌と写真で綴る薩摩の脇道 - 歌三昧の史跡巡礼 - 」を投稿していただきました。生麦事件と薩英戦争の事を詳細に解説していただきました。有難うございました。リレー随筆は鹿児島生協病院の中間大幹先生より「僕のバイク旅」を投稿していただきました。学生時代の楽しい思い出をご紹介いただきました。旅行に行けない昨今ですが、旅行が可能となる日々を楽しみにいたしております。

各種報告、附属施設だより、会の動き、医療事故調査制度サポートセンターの開設によせて等はご参照下さい。鹿市医郷壇は今月の兼題が「手」でした。多数の投稿をいただきまして有難うございました。

新型コロナウイルス感染症は、デルタ株による急速な感染拡大が認められています。鹿児島県でも8月11日に新規感染確認者数が108人となり、8月19日に251人とピーク(であって欲しいと願っていますが)となり、いまだに100人台が続いております。8月22日に市内の重点医療機関院長等連絡会が開催され対応策が検討されました。いくつかの施策がなされ、少しずつ感染が収束の方向に向かっていくことを祈念しています。

(編集委員長 帆北 修一)